



### 課題活動を通して様々な 価値観に触れることの重要性

学友会長 佐藤 昇

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。

在校生の皆さん、お元気でお過ごしでしょうか？

大学では「学ぶこと」が学生として最も重要なミッションです。「学ぶこと」は医学の専門知識・技能や教養を高めるリベラル・アーツなどの大学の講義・実習だけを指すわけではありません。医学部での人材育成は、医療現場で活躍する医師は勿論のこと、医学研究を推進する医学研究者、保健医療行政をリードする医系技官など多岐にわたっています。これら全ての職種において他者と協力・協働して行うことがとりわけ現代では重要となっています。そのためには大学時代を通じて、他者とのコミュニケーションや協調・協働する姿勢やスキルを身に付ける必要があります。したがって皆さんは学問を学ぶだけではなく、学生生活を通じて人間として成長し、他者を思いやる気持ちや行動、社会性・倫理観などを身につけることが求められます。

学友会は学内における文化、スポーツ活動を通じて大学教職員、学生、および卒業生による交流を図る目的で、大正12年（1923年）に新潟医科大学学友会として結成されたのに端を発し、戦後に再建されて現在に至っています。現在、運動部と文化部合わせて30以上が活動しており、多くの学生が参加しています。また5月には同窓生を含む教職員と学生が参加する医学部大運動会が開催されており、コロナ禍で中断がありましたが、現在は再開され学生や教職員、同窓生の交流の場となっています。これらの課外活動は、学生生活を豊かにし、様々な経験を積むことで人として大きく成長する機会となります。部活によっては他大学と日頃の成果を競い合う場を通して、合い互いに切磋琢磨することで、思わぬ交友が全国に広がるきっかけにもなります。また大学から飛び出て、社会の方々と交

流する機会となる活動もあります。同級生や先輩後輩との絆を深め、様々な異なる価値観を知り、理解することは、今後特に重要になることでしょう。

現在の医療は複数の異なる専門を有する医師、歯科医師、看護師、薬剤師、理学療法士などの専門職、事務員や時に行政の担当者などとチームを作って診療に当たるのが当たり前になっています。この流れは今後衰えることはなく、ますます強まることと思います。これは医療に限ったことではなく、研究の世界でも異なる専門性を持つもの同士が手を組んで国際的な研究チームで研究を進めることで、より大きな最先端の研究を展開することができます。医学科に在籍する皆さんは、これからの医療や医学に携わるために、これまでの先輩以上に他者と協働することが求められ、そのための準備は大学の講義・実習だけでは不十分です。日頃から様々なことに興味を持ち、他者と触れ合う機会を大切に、実りある学生生活を送っていただきたいと思います。



## 学友会委員長を終えて

令和6年度学友会委員長 薬袋 理帆

令和6年度学友会委員長を務めさせていただきました、医学科五年の薬袋理帆です。まず、先生方をはじめとする関係者の皆様には、日頃から温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。皆様のご協力のもと、今年度も多くの学生が部活動を通して充実した時間を過ごし、成長する場を提供できていることを大変嬉しく思っております。

部活動は、私たち学生にとって学業と同じくらい、いやそれ以上に多くのことを学べる大切な時間と場です。学年や学部を超えて集まる仲間たちとともに目標に向かって努力し、時には困難を乗り越え、互いに高め合うこの経験は、今後の人生においてもかけがえのない財産となるでしょう。私も部長という立場を通じ、学生生活をより豊かに彩り、多くの学びと成長を生み出す場として、部活動がますます発展していくよう、全力でサポートしていきたいと考えています。

次いで、新入生の皆さん、改めて入学おめでとうございます。厳しい受験を乗り越え、こうして新しい環境での生活を始めている皆さんにとって、大学生活はきっと期待と不安が入り混じったものだと思います。大学での時間は、人生の中でも限られた貴重な経験を積む絶好の機会です。ぜひ、今この瞬間の気持ちを大切にしながら、自分がやりたいことや興味のあることにどんどんチャレンジしてください。学業だけでなく、部活動や課外活動、地域のイベントなど、さまざまな活動に参加することで新しい自分を発見したり、共に支え合う仲間と絆を深めたりすることができるはずです。

そして在校生の皆さんも、学生生活を存分に楽しんでいらっしゃいますでしょうか。授業や実習、アルバイト、研究活動、そして留学など、大学生活では挑戦できることが無限に広がっています。忙しい毎日を過ごしている方も多いかもかもしれません

が、限られた学生時代だからこそ、自分の好きなことに没頭し、また時には新しいことにチャレンジすることが大切です。是非この学生時代に経験を積み重ねて、医師となるうえで大きな土台を築いていただければと思います。

私自身、部活動を通じて数え切れないほどの仲間と出会い、さまざまな経験を重ねてきました。その中で何度も困難に直面し、自分自身の限界に挑むこともありましたが、そんな時こそ仲間と共に乗り越えてきた経験が自分を支える力となり、また成長する原動力となりました。この経験から、どのような出来事も受け身ではなく積極的に取り組むことの重要性を学びました。自分から進んで行動し、困難や挑戦に立ち向かう姿勢が、経験を真の財産へと変えるのです。学生時代は、こうした経験をえられる非常に貴重な時間です。ぜひ皆さんも積極的に動き、将来に繋がる貴重な経験を重ねていってください。

部活動の時間は、勉強や生活と両立することが簡単ではないかもしれませんが。しかし、学問だけでなく、幅広い活動に取り組むことは、将来どのような分野に進むとしても、大きな意味を持つものです。仲間たちと共に目標に向かって努力し、達成感や充実感を味わう瞬間は、他では得られない喜びです。そして、その過程で培われるリーダーシップや協力する力、忍耐力は、今後の人生でもきっと大きな力となります。

私がこの役職を務めさせていただいているのも、部活動で得たさまざまな経験や、それを支えてくれた多くの仲間や先生方のおかげです。このような貴重な経験の機会を与えてくださった皆様に、深く感謝申し上げますと共に、今後も引き続き、皆様と共に部活動のさらなる発展を目指して邁進していく所存です。今年度も皆様とともに素晴らしい学生生活を送り、充実した1年にできることを心から願っています。本当にありがとうございました。

今後とも校友会をどうぞよろしくお願い申し上げます。